

# 水環境整備における地元住民との連携について Cooperation with the Local Residents for Water Environment Maintenance

嶋崎 治雄  
SHIMASAKI Haruo

## 1. はじめに

地域用水環境整備事業川合溜池地区（員弁郡藤原町大字川合地内）は、平成 10 年度に事業着手し平成 14 年 3 月に完了した。

本事業において、農業用水利施設の環境整備を実施するにあたり、地域住民からの要望を取り入れ、隣接する保育所、老人福祉施設との調和を図り、どのように施設を整備していくかということが課題であったが、藤原町役場の仲介で地元ボランティア団体の意見を集約して、地域に根ざした施設の整備を進めることができたので、その概要を報告する。

## 2. 地区の概要

川合溜池は、下流受益地（3.7ha）の農業用水へのかんがい用水源としての利用はもとより、消防用水、水害から下流域を守る防災施設としての機能を有する農業用施設である。上流はほ場整備事業藤原中部地区で整備されたほ場が広がり、その排水路の流末に川合溜池が位置している。

周辺には老人福祉施設（老人憩いの家）、藤原町立ふじわら保育所、川合神社といった施設がありお年寄り、園児、地元の方々が集まるといった条件を備えている。



図 1 川合溜池地区案内図

## 3. 施設の整備と地元住民の参加

川合溜池地区の整備は農業用水利施設の維持管理労力の軽減と水辺空間の景観整備、親水整備を目的とし、ため池上流、ため池、ため池下流の3ゾーンに分けて整備を進めた。

ため池上流（せせらぎ水路周辺）はふじわら保育所の入り口にあたり、藤原町役場は事業当初から保育所と違和感のない景観整備を望んでいた。

また、地元の子育てボランティア団体ひよこクラブ（以下ひよこクラブ）は以前より地元で子どもが安心して遊ぶことのできる施設が少ないと感じていた。

そこで、ため池上流（せせらぎ水路周辺）の施設整備を保育所との景観に配慮し、子どもが遊ぶことのできる施設とするために県工事担当者との意見交換の場を持つこととなり、藤原町役場がコーディネーター役となって施設整備の連携が始まった。

## 4. 地元住民との連携

ひよこクラブはサークル参加者に独自のアンケートをとり、これに基づいて整備内容を

提案（表 1）した。この中で、愛着のある施設としたい、自分たちも施設の整備に参加したいとのことから「植栽したい」との提案が出てきたことが、本事業における連携の特徴である。

これらの提案を具体化するために休憩施設の設置場所や規模、植栽する場所などを施工中の現場で相談し、施工に反映した。

#### 5．植樹会

植樹会は植樹植物の選定と当日の植樹、根が付くまでの維持管理をひよこクラブが中心となって行った。特に維持管理については、手直し、施肥、毎日の水やりを熱心に行ってくれた。

植樹会当日は藤原町長も参加し、新聞報道の効果もあって、ひよこクラブを中心とした地元の方 50 名ほどが参加し大成功を納めた。

#### 6．新聞報道

せせらぎ水路周辺の施設が完成間近の平成 13 年 2 月 3 日、中日新聞で「藤原町の保育所隣にせせらぎ水路完成」と報道された。これは新聞記者が偶然せせらぎ水路の話聞き、突然取材を受けたものである。公共事業については厳しい報道内容が多いが、好意的な内容で、これも今回の連携の成果の一つであるとする。

#### 7．まとめ

地元やボランティア団体の意見を取り入れながら工事を進めるのは初めての経験であり、とまどうことも多いと同時に、学ぶべき点も多かった。地元住民との連携において考慮すべき事項を以下に示しまとめとする。

視覚的にわかりやすい形での説明が重要である。

ある程度施工が進んでからでない具体的な意見がでてこなかった。平面図や横断図で説明しても一般の方にはイメージがつかみづらいので、現地で見ってもらう、あるいは鳥瞰図やイラストなど、わかりやすい形で説明することが重要であるとする。

余裕を見た工期設定が必要である。

相談したり意見をもらいながら工事を進めたため、工法が決まるまで手待ち、新たな資材の手配などに時間を要し工期が大幅に延びた。ある程度施工が進んでからでない具体的な意見が出てこないことも考えると、余裕を見た工期設定が必要であるとする。

細部まで現場で指示することが必要である。

ひよこクラブと相談したことやいただいた意見を現場に反映するために、工事請負業者まかせにせず、現場で細かく指示した。

コーディネーターの存在は重要である。

ひよこクラブとの仲介役として藤原町役場に大変お世話になった。県には言いにくいことでも町役場には意見を言いやすいようであった。地元と密着したコーディネーターの存在は地元住民との連携において不可欠であるとする。

水質の浄化 手洗い場の設置 遊具の設置 休憩施設の設置 植栽したい トイレの設置
---------------------------------------------------------

表 1 提案内容



写真 1 植樹状況